

情報サービス演習II

第14回

統計の探し方

鶴見大学 非常勤講師
江草由佳

(国立教育政策研究所 総括研究官)

yuka@nier.go.jp

本日のお品書き

- お知らせ
- 試験について
- 第15回演習課題
- 統計の探し方
 - 総務省 統計局・政策総括官 (統計基準担当)・統計研修所
 - 政府統計の総合窓口
 - 白書・年次報告書等
 - 専門分野の統計情報

お知らせ

- 試験
 - 5回以上欠席した人は受験資格がありません

試験について(1)

- 論理演算
 - 論理積(AND)
 - 論理和(OR)
 - 論理差(NOT)
 - **※**も描けるように
- トランケーション
 - 前方一致
 - 後方一致
 - 中間一致
 - 中間任意
 - ワイルドカード
 - マスク文字

※リンク集の作成方法については出しません
(レポートを出したため)

試験について(2)

- 使った情報資源の特徴を覚える
 - 主題・テーマは？
 - Webページ？本？論文？
 - どんなことがわかる？
 - 所蔵情報？全文？
- どんな検索要求のときに、どの情報資源を使えばよいか
 - 例：夏目漱石が書いた「我輩は猫である」の全文を読みたい
 - → どの情報資源を検索すると良い？

第15回演習課題

- 演習課題を実行し、講義Webサイトから、回答用紙をダウンロードし、PowerPointで作成して、9分割両面印刷して提出しなさい。
 - 課題名に: 第__回演習課題と入れなさい
 - ✕切: 次回演習開始時
- 「情報サービス演習II」、「第__回演習課題:統計の探し方」、「時限」「学籍番号」、「名前」、「提出年月日」を忘れずに記入すること

参考：9ページをまとめて一枚として印刷する方法※

最後

印刷

部数: 1

プリンター

403-prT (file-sv4f 上)
準備完了

設定

すべてのスライドを印刷
プレゼンテーション全体を印刷し

プリンターのプロパティ

9 in 1

2

OK

3

OK

※鶴見大学 402教室,403教室のパソコンでのやり方です。

統計の特徴とそのアプローチ

- 統計的なデータは統計索引を活用する
- 以下の情報資源を利用する
 - 統計年鑑
 - 年鑑
 - 白書
 - (統計を中心とした)便覧
 - ファクトデータベース

統計局ホームページ

- <http://www.stat.go.jp/>
- 総務省が管理する統計を公開
- 国勢調査、人口推計、日本統計年鑑、日本の統計、世界の統計などの統計の一覧をExcelで提供
- 統計に関する情報を見たいときは最初にみるべきサイト
- 日本統計年鑑の最新版が閲覧可能
 - “統計データ”の”分野別一覧”をクリック
 - “総合統計書等”の“日本統計年鑑”リンクをクリック
 - 「本書の内容」をクリック
 - 「日本統計年鑑全文(HTML5)」の下のリンクをクリック
 - 「全文閲覧」へのリンク、目次等が表示される
 - [PowerPointへ](#)
 - 各目次をたどると、統計データがExcelで入手できる

演習：日本の人口

- あなたの誕生年の日本の人口は何人か？
 - (表は1000人単位になっているので注意)
- 日本統計年鑑の最新版を使って答えなさい
 - 載っている表の画面を → PowerPointへ
 - (該当の年と人口が見えるように)

政府統計の総合窓口

- <http://www.e-stat.go.jp/>
- 各省庁が公開している統計表を総合的に検索できる
 - “統計データを探す”の「ファイルから探す」をクリック
 - “統計一覧”に「インターネット 人口」を入力
 - “検索”ボタンをクリック
 - 統計表名がリンクになっているのでそのリンクをクリックすると、説明が閲覧できる→ [PowerPointへ](#)
 - 「CSV」のリンクをクリックすると、実際の統計データCSVがダウンロードできる CSVを開いてみる→ [PowerPointへ](#)

白書・年次報告書等

- 白書、年次報告書、年鑑にある統計情報がある
- 「電子政府の総合窓口」に、白書等へのリンクあり(白書、年次報告書等)
 - http://www.e-gov.go.jp/publication/white_papers.html全文や要旨へのリンクがある。
- 演習：任意の白書等の統計情報の画面を表示させる→ PowerPoint(白書名、たどった方法など簡単に説明をつける)

専門分野の統計情報

- 日本図書館協会：日本の図書館統計
 - <http://www.jla.or.jp/library/statistics/tabid/94/Default.aspx>
- 最高裁判所：司法統計
 - <http://www.courts.go.jp/search/jtsp0010>

ファクトデータベース

- 過去の気象データ検索

- <https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>

- 横浜の降水量：過去50年間で最も少なかった年は何年か？

- 都道府県：「神奈川県」を選ぶ
 - 地点：「横浜」を選ぶ
 - データの種類：「年ごとの値を表示」を選ぶ
 - 「降水量」の列を見る → [PowerPointへ](#)
 - [何年かを記入する](#)